

プログラム

ライブ配信：2020年9月21日（月・祝）

■ 9：00～9：30 大会長挨拶

大会長：田中 究（兵庫県立ひょうごこころの医療センター）

■ 9：30～10：30 基調講演Ⅰ

犯罪被害者のトラウマとその支援－この25年を振り返って

座長：田中 究（兵庫県立ひょうごこころの医療センター）
演者：小西 聖子（武蔵野大学 教授）

■ 10：45～12：05 大会企画シンポジウムⅠ

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）がもたらす心理的影響と対応： これまでの知見と経験から学ぶ

企画・座長：加藤 寛（兵庫県こころのケアセンター）
高橋 晶（筑波大学）
シンポジスト：重村 淳（目白大学 保健医療学部）
村上 典子（神戸赤十字病院心療内科）
大澤 智子（兵庫県こころのケアセンター）
加藤 寛（兵庫県こころのケアセンター）

- I-1 COVID-19（新型コロナウイルス感染症）がもたらす心理社会的現象の理解に向けて
重村 淳（目白大学 保健医療学部）
- I-2 COVID-19 院内感染が発生した病院における職員へのメンタルケア
村上 典子（神戸赤十字病院心療内科）
- I-3 消防職員に見られる COVID-19 対応の業務ストレスについて
大澤 智子（兵庫県こころのケアセンター）
- I-4 未知の感染症への心理的支援：クルーズ船での活動を振り返って
加藤 寛（兵庫県こころのケアセンター）

■ 13：00～14：00 ランチタイムセミナーⅠ

精神科医・安克昌からのメッセージ ～NHKドラマ「心の傷を癒すということ」を読み解く～

演者：安達もじり（NHK 大阪拠点放送局 制作部）
京田 光広（NHK エンタープライズ近畿総支社 制作部）
宮地 尚子（一橋大学大学院教授）

■ 14：15～15：25 基調講演Ⅱ

Exploring the many different concepts of trauma through art

座長：森 茂起（甲南大学文学部人間科学科）
演者：Dr. Eugen Koh（Melbourne School of Population and Global Health, University of Melbourne）

トラウマからの回復におけるアートの役割

——コミュニティーケアを中心に

企画・座長：森 茂起（甲南大学文学部人間科学科）

田中 究（兵庫県立ひょうごこころの医療センター）

シンポジスト：吉川 由美（アートプロデュース、DAHA Planning Work（仙台市））

服部 正（美術史、障害者の芸術活動の研究、甲南大学）

竹島 正（精神保健福祉、川崎市精神保健福祉センター）

Ⅱ-1 東日本大震災後のコミュニティアートの試み～生きることを肯定する場を創る

吉川 由美（アートプロデュース、DAHA Planning Work（仙台市））

Ⅱ-2 新型出生前診断がもたらすトラウマ、そのアートによる回復支援について

服部 正（美術史、障害者の芸術活動の研究、甲南大学）

Ⅱ-3 精神疾患を経験するというトラウマ——回復過程におけるアートとコミュニティのつながり

竹島 正（精神保健福祉、川崎市精神保健福祉センター）

オンデマンド配信：2020年9月22日（火・祝）～10月20日（火）正午

■ランチタイムセミナーⅡ

人はなぜ依存症になるのか？

演 者：松本 俊彦（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部）

■シンポジウム S-1

東日本大震災後の母子のメンタルヘルス

～「みちのく子どもコホート」から見える被災地の今～

企 画：八木 淳子（岩手医科大学医学部 神経精神科学講座）

座 長：笠原 麻里（医療法人財団青溪会 駒木野病院）

富永 良喜（兵庫県立大学）

シンポジスト：八木 淳子（岩手医科大学医学部 神経精神科学講座）

松浦 直己（三重大学）

福地 成（公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター）

榎屋 二郎（東京医科大学精神医学分野）

S-1-1 「みちのく子どもコホート（MiCCa GEJE）」研究の概要と進捗状況について

八木 淳子（岩手医科大学医学部 神経精神科学講座）

S-1-2 最新の解析結果～母子のメンタルヘルスと子どもの発達との関連～

松浦 直己（三重大学）

S-1-3 母親のメンタルヘルスと地域支援の実際

福地 成（公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター）

S-1-4 「みちのく子どもコホート」における母親応援企画（被災地養育サポートキャラバン）の報告

榎屋 二郎（東京医科大学精神医学分野、福島大学子どものメンタルヘルス支援事業推進室）

■シンポジウム S-2

福島の今：原発災害がもたらした被災者への心理的影響とその支援

企 画：前田 正治（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）

座 長：佐久間 啓（社会医療法人 あさかホスピタル）

前田 正治（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）

シンポジスト：佐久間 啓（社会医療法人 あさかホスピタル）

榎屋 二郎（東京医科大学精神医学分野、福島大学子どものメンタルヘルス支援事業推進室）

前田 正治（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）

桃井 真帆（福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター）

S-2-1 東日本大震災での被災者支援を振り返って

佐久間 啓（社会医療法人 あさかホスピタル）

S-2-2 福島における被災した児童・生徒への支援

榎屋 二郎（東京医科大学精神医学分野、福島大学子どものメンタルヘルス支援事業推進室）

S-2-3 福島被災住民のメンタルヘルスの現状と課題：県民健康調査結果から

前田 正治（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）

S-2-4 被災者に対する架電支援の試み ―これまでの支援の総括と今後―

桃井 真帆（福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター）

■シンポジウム S-3

熊本地震の心のケア～復興期の今と向き合って～

- 企画：原田奈穂子（宮崎大学医学部看護学科精神看護学領域）
座長：原田奈穂子（宮崎大学医学部看護学科精神看護学領域）
佐伯真由美（広島県立総合精神保健福祉センター）
シンポジスト：大瀬 陽子（益城町保健福祉センター 健康づくり推進課健康増進係）
福島 彩香（熊本こころのケアセンター）
吉川麻依子（熊本こころのケアセンター）
原田奈穂子（宮崎大学医学部看護学科精神看護学領域）

S-3-1 益城町民とともに～保健師の立場から～

大瀬 陽子（益城町保健福祉センター 健康づくり推進課健康増進係）

S-3-2 どうつながり、どう支えるか～西原村仮設団地での心のケア活動を通して～

福島 彩香（熊本こころのケアセンター）

S-3-3 支援者支援を通しての気づき

吉川麻依子（熊本こころのケアセンター）

S-3-4 外部支援者として長く関わるということ

原田奈穂子（宮崎大学医学部看護学科精神看護学領域）

■シンポジウム S-4

災害時の多職種連携とこころのトラウマ対応

- 企画・座長：高橋 晶（筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学 / 茨城県立こころの医療センター）
重村 淳（目白大学 保健医療学部）
指定討論者：高橋 晶（筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学 / 茨城県立こころの医療センター）
シンポジスト：重村 淳（目白大学 保健医療学部）
千島佳也子（独立行政法人 国立病院機構 本部 DMAT 事務局災害医療課 厚生労働省 DMAT 事務局）
池田 美樹（桜美林大学 リベラルアーツ学群・DPAT 事務局）
鈴木 正貴（宮城県スクールカウンセラー）

S-4-1 あらゆる脅威に対応する「こころのケア」の多職種連携

重村 淳（目白大学 保健医療学部）

S-4-2 看護から見た災害精神領域の多職種連携

千島佳也子（独立行政法人 国立病院機構 本部 DMAT 事務局災害医療課 厚生労働省 DMAT 事務局）

S-4-3 心理的支援と多職種連携—発災直後から中長期の地域支援を考える

池田 美樹（桜美林大学 リベラルアーツ学群・DPAT 事務局）

S-4-4 被災地の学校現場における多職種連携～スクールカウンセラーの立場から～

鈴木 正貴（宮城県スクールカウンセラー）

指定討論 災害時・後の多職種連携の例

高橋 晶（筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学 / 茨城県立こころの医療センター）

■シンポジウム S-5

EMDRの現在

企画：市井 雅哉（兵庫教育大学）
座長：市井 雅哉（兵庫教育大学）
指定討論者：大河原美以（東京学芸大学）
シンポジスト：仁木 啓介（ニキハーティーホスピタル）
岩瀬佳代子（京都スクールカウンセラー）
菊池安希子（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

S-5-1 災害トラウマにおける EMDR

仁木 啓介（ニキハーティーホスピタル）

S-5-2 事故目撃の急性ストレス反応に対する R-TEP

岩瀬佳代子（京都スクールカウンセラー）

S-5-3 司法精神科における EMDR

菊池安希子（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

■シンポジウム S-6

現場での実践を目指したトラウマ関連疾患のアセスメント

企画・座長：大江美佐里（久留米大学医学部神経精神医学講座）
シンポジスト：大江美佐里（久留米大学医学部神経精神医学講座）
高橋 晶（筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学）
菊地 祐子（東京都立小児総合医療センター 子ども家族支援部門）

S-6-1 精神科外来でのトラウマ関連疾患のアセスメント

大江美佐里（久留米大学医学部神経精神医学講座）

S-6-2 災害領域におけるトラウマ関連疾患のアセスメント

高橋 晶（筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学）

S-6-3 児童領域におけるアセスメントの実際

菊地 祐子（東京都立小児総合医療センター 子ども家族支援部門）

■シンポジウム S-7

トラウマに関連した様々な問題への認知処理療法の展開

企画：伊藤 正哉（国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター）
座長：中島 聡美（武蔵野大学人間科学部）
シンポジスト：片柳 章子（国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター）
大江美佐里（久留米大学医学部神経精神医学講座）
森田 展彰（筑波大学医学医療系）
高岸百合子（駿河台大学心理学部）

S-7-1 心的外傷後ストレス症状の青少年を対象にした日本版認知処理療法の開発

片柳 章子（国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター）

S-7-2 認知処理療法を「応援」する心理教育マテリアル作成

大江美佐里（久留米大学医学部神経精神医学講座）

S-7-3 認知処理療法をもとにした家庭内暴力被害者への心理教育資料

森田 展彰（筑波大学医学医療系）

S-7-4 アルコール使用障害が併発した心的外傷後ストレス障害に対する認知処理療法の適用

高岸百合子（駿河台大学心理学部）

■シンポジウム S-8

トラウマ・グリーフの認知行動療法の実践的展開

企 画：小西 聖子（武蔵野大学 教授）
座 長：小西 聖子（武蔵野大学 教授）
伊藤 正哉（国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター）
シンポジスト：中島 聡美（武蔵野大学人間科学部）
今野理恵子（武蔵野大学人間科学部）
浅野 敬子（武蔵野大学人間科学部）

S-8-1 複雑性悲嘆の集団認知行動療法（ENERGY）の予備的効果研究

中島 聡美（武蔵野大学人間科学部、武蔵野大学認知行動療法研究所）

S-8-2 性暴力被害者を対象とした PTSD の急性期治療／回復プログラムの開発 — 実行可能性の検証 —

今野理恵子（武蔵野大学人間科学部、武蔵野大学認知行動療法研究所）

S-8-3 性暴力被害者のためのワンストップ支援センターから精神科へ紹介された被害者の 実情と治療の課題 —

浅野 敬子（武蔵野大学人間科学部、武蔵野大学認知行動療法研究所）

■シンポジウム S-9

学校でのトラウマインフォームドアプローチ

企 画：岩切 昌宏（大阪教育大学学校安全推進センター）
座 長：岩切 昌宏（大阪教育大学学校安全推進センター）
松浦 正一（帝京平成大学健康メディカル学部）
シンポジスト：中村 有吾（徳島大学保健管理・総合相談センター）
岩切 昌宏（大阪教育大学学校安全推進センター）
藤森 和美（武蔵野大学人間関係学部）

S-9-1 トラウマインフォームドアプローチの第一層目における専門家の役割を考える

中村 有吾（徳島大学保健管理・総合相談センター）

S-9-2 事例対応の中でのトラウマインフォームドケア

岩切 昌宏（大阪教育大学学校安全推進センター）

S-9-3 性暴力被害を受けた子どもの保護者への心理教育プログラム — 保護者や支援者に対するインフォームドケア —

藤森 和美（武蔵野大学人間関係学部）

■シンポジウム S-10

地域精神医療におけるトラウマ・インフォームド・ケア

- 企画：大久保圭策（大久保クリニック）
丸田 芳裕（岩沢神経科クリニック）
座長：千郷 雅史（あしたクリニック）
大久保圭策（大久保クリニック）
指定討論者：野坂 祐子（大阪大学大学院人間科学研究科臨床教育学講座・教育心理学分野）
シンポジスト：植村 太郎（神戸労災病院 精神科）
蟻塚 亮二（メンタルクリニックなごみ）
西川 瑞穂（かく・にしかわ診療所）

- S-10-1 総合病院精神科の外来でできること—システム論的なものの見方、トラウマケア、そして対話主義的な実践からの視点
植村 太郎（神戸労災病院 精神科）
- S-10-2 被災地における新しい精神保健システムの構築
蟻塚 亮二（メンタルクリニックなごみ）
- S-10-3 精神科外来における小児期逆境体験～2施設におけるアンケート調査から
西川 瑞穂（かく・にしかわ診療所）

■シンポジウム S-11

マインドフルネスによるトラウマ治療：その展開の最前線

- 企画：岩井 圭司（兵庫教育大学大学院 人間発達教育）
座長：岩井 圭司（兵庫教育大学大学院 人間発達教育）
シンポジスト：富田 拓郎（中央大学文学部）
伊藤 華野（京都西山短期大学）
藤野 正寛（京都大学オープンイノベーション機構）
池埜 聡（関西学院大学人間福祉学部）

- S-11-1 セルフ・コンパッションの臨床応用の可能性と課題
富田 拓郎（中央大学文学部）
- S-11-2 トラウマを有する子どもへのマインドフルネス・ヨーガの応用
伊藤 華野（京都西山短期大学）
- S-11-3 ありのままに気づくことの心理・神経メカニズムと可能性
藤野 正寛（京都大学オープンイノベーション機構）
- S-11-4 トラウマケアにおけるマインドフルネスの位相
池埜 聡（関西学院大学人間福祉学部）

■シンポジウム S-12

児童福祉領域におけるトラウマインフォームドケア

企画：野坂 祐子（大阪大学大学院人間科学研究科）
 亀岡 智美（兵庫県こころのケアセンター）
座長・指定討論者：亀岡 智美（兵庫県こころのケアセンター）
シンポジスト：土谷麻紀子（北海道立向陽学院）
 三宅和佳子（大阪母子医療センター）
 笠原 麻央（長野総合法律事務所）

S-12-1 児童自立支援施設におけるトラウマインフォームドケア～指導と支援をつなぐもの～
土谷麻紀子（北海道立向陽学院）

S-12-2 子ども病院におけるトラウマインフォームドケア
三宅和佳子（大阪母子医療センター）

S-12-3 知る権利の『主体性』を考える～自己決定の援助環境を整備することに向けて～
笠原 麻央（長野総合法律事務所）

■シンポジウム S-13

戦争と性暴力にみる被害者非難

企画：野田 哲朗（国立大学法人兵庫教育大学大学院学校教育研究科）
座長：蟻塚 亮二（メンタルクリニックなごみ）
 野田 哲朗（国立大学法人兵庫教育大学大学院学校教育研究科）
指定討論者：岩井 圭司（国立大学法人兵庫教育大学大学院学校教育研究科）
シンポジスト：高遠菜穂子（イラク人道支援ワーカー「海外派遣自衛官と家族の健康を考える会」）
 高里 鈴代（強姦救援センター・沖縄（REICO）代表）
 山本 潤（一般社団法人 Spring）

S-13-1 IS（＝イスラム国）に性奴隷にされた女性たちの今
高遠菜穂子（イラク人道支援ワーカー「海外派遣自衛官と家族の健康を考える会」）

S-13-2 軍隊の構造的暴力と女性～沖縄における戦後性暴力と売春防止法の欺瞞
高里 鈴代（強姦救援センター・沖縄（REICO）代表）

S-13-3 性被害当事者が生きやすい社会へ～承認の場としてのフラワーデモ
山本 潤（一般社団法人 Spring）

■シンポジウム S-14

戦争における加害のトラウマについて考える

企画・座長：森 茂起（甲南大学文学部人間科学科）
指定討論者：竹島 正（精神保健福祉・川崎市精神保健福祉センター）
シンポジスト：村本 邦子（立命館大学）
中村 江里（慶應義塾大学）
黒井 秋夫（「PTSD の復員日本兵と暮らした家族が語り合う会」代表）

S-14-1 戦争における加害のトラウマが次世代に何をもたらしてきたのか

村本 邦子（立命館大学）

S-14-2 「加害」と「罪悪感」を歴史化する—戦時下の国府台陸軍病院カルテの分析から

中村 江里（慶應義塾大学）

S-14-3 PTSD の復員日本兵と暮らした家族の視点から

黒井 秋夫（「PTSD の復員日本兵と暮らした家族が語り合う会」代表）

■シンポジウム S-15

自殺をめぐる家族・支援者の現状と今後の課題

企画：白井 明美（国際医療福祉大学赤坂心理・医療福祉マネジメント学部）
座長：白井 明美（国際医療福祉大学赤坂心理・医療福祉マネジメント学部）
正木 啓子（都留文科大学教養学部）
シンポジスト：白神 敬介（上越教育大学大学院学校教育研究科）
大倉 高志（岡山県立大学保健福祉学部）
正木 啓子（都留文科大学教養学部）

S-15-1 自死による死別後の影響とポストベンション：研究の概観と今後の展望

白神 敬介（上越教育大学大学院学校教育研究科）

S-15-2 自殺で家族を亡くした遺族が求める支援：偏見による苦しみにどう対応するか

大倉 高志（岡山県立大学 保健福祉学部）

S-15-3 心理職が自分のクライアントを自死で亡くした場合のサポート

正木 啓子（都留文科大学教養学部）

■シンポジウム S-16

明日からの慢性トラウマ臨床に役立つ構造的解離入門

企画：新谷 宏伸（本庄児玉病院）
座長：細澤 仁（フェルマータ・メンタルクリニック）
山本 貢司（田園調布カウンセリングオフィス）
シンポジスト：新谷 宏伸（本庄児玉病院）
田辺 肇（静岡大学人文社会科学部）
野間 俊一（のまこころクリニック）

S-16-1 構造的解離の基本概念—ANPとEPの織り成す心模様—

新谷 宏伸（本庄児玉病院）

S-16-2 慢性外傷とジャネ Pierre Janet の活動心理学

田辺 肇（静岡大学人文社会科学部）

S-16-3 構造的解離理論に基づいた慢性トラウマ患者の治療

野間 俊一（のまこころクリニック）

■ポスターセッション

- P-1 神経症圏患者への短期心理教育面接の効果検討
石田 哲也 (久留米大学医学部神経精神医学講座)
- P-2 DV相談窓口・DVシェルター利用者のPTSD重症度比較
小林 雄大 (久留米大学医学部神経精神医学講座)
- P-3 感謝カードおよびバイスタンダーのストレスケア制度に対する認識 —感謝カード
に対する消防職員の意識 (1) —
松井 豊 (筑波大学)
- P-4 演題取り下げ
- P-5 災害救援者のレジリエンス比較 : 陸上自衛隊員、警察職員、消防職員、企業従業員
を対象に
寺田 孝史 (防衛大学校 総合安全保障研究科)
- P-6 Child Abuse and Trauma Scale (CATS) 再分類版の信頼性と妥当性—気分障害患者及
び健常者における検討—
斉藤 拓 (防衛医科大学校精神科学講座)
- P-7 東日本大震災後の仮設住宅と精神的不健康の関係: クロスラグパネルモデルを用い
た媒介分析
森島 遼 (東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻)
- P-8 「戦争によるトラウマ」を負った自国民に対し、自国民による心理的対応ができる支
援者養成の試み
文珠紀久野 (公立大学山梨県立大学)
- P-9 DVサバイバー等の女性をサポートする施設・機関の支援者が経験する困難と成長
の関連
橋本るり子 (社会福祉法人二葉保育園 二葉乳児院)
- P-10 岩手県における東日本大震災後の社会的孤立の有無による抑うつ症状ハイリスク者
の経年変化 - 東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査
事崎 由佳 (岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構)
- P-11 東日本大震災で被災した看護管理者が「日常に戻った」と自認するまでの体験の福
島と他地域の相違点
吉谷 優子 (日本赤十字北海道看護大学看護学部精神看護学領域)
- P-12 解離症・変換症・身体症状症の当科受診例の検討
山根 謙一 (九州大学病院子どものこころの診療部)
- P-13 東日本大震災後に誕生した子どもとその家庭への縦断支援研究 (1): 宮城県の児童
の認知発達、問題行動、家庭の被災状況の関連から
福地 成 (公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター、
国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所)
- P-14 遺されたきょうだいのレジリエンスの検討
太田 美里 (香川大学医学部、兵庫県こころのケアセンター)

- P-15 **認知処理療法（CPT）のランダム化比較試験における臨床研究コーディネーター（CRC）の役割**
佐藤 珠恵（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター）
- P-16 **トラウマインフォームドな実践—アートでみる精神障害者のトラウマ**
大岡 由佳（武庫川女子大学）
- P-17 **トラウマへの態度を見直して安心して健全な支援を行うための教育教材の開発と倫理教育の必要性**
吉田 博美（駒澤大学学生相談室、武蔵野大学心理臨床センター）
- P-18 **演題取り下げ**
- P-19 **福島県県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」中学生以下の子どもをもつ保護者への電話支援 7年間の経過について**
及川 祐一（福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター）
- P-20 **消防職員の精神的健康と注意機能との関連（4）—惨事経験の有無と神経心理学的指標による適応の予測—**
畑中 美穂（名城大学人間学部）
- P-21 **小児期逆境体験が認知機能に与える影響**
岩尾 信幸（一般社団法人波の家福祉会）
- P-22 **福島第一・第二原子力発電所員における心的外傷後ストレス障害（PTSD）症状と使命感との関連**
小林 佑衣（防衛医科大学校精神科学講座）
- P-23 **項目反応理論による解離性体験尺度Ⅱの項目評価：オンラインサーベイに基づくアナログ研究**
池田 龍也（広島文化学園大学看護学部看護学科）
- P-24 **東日本大震災から9年 静かに深く進行するトラウマ**
岩淵 正之（岩淵内科医院）
- P-25 **東日本大震災後に誕生した子どもとその家庭への縦断支援研究（2）：保護者の被災状況及び過去のトラウマ体験によるクラスターごとの経過について**
千葉 柊作（東北大学大学教育学研究科 公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター、東北大学大学教育学研究科）
- P-26 **重症精神疾患におけるトラウマと PTSD の割合**
富本 和歩（東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野）
- P-27 **東日本大震災に派遣された陸上自衛官に対する前向きコホート研究**
山崎 真之（防衛医科大学校 精神科学講座）
- P-28 **高校生を対象としたデート DV 予防・防止教育プログラムの効果検証と効果の維持**
赤澤 淳子（福山大学人間文化学部心理学科）
- P-29 **解離性同一性障害（DID）を併発した心的外傷後ストレス障害（PTSD）に自我状態療法と EMDR TS プロトコールが奏功した 10 歳代後半女性の一例**
石島 洋輔（医療法人成精会 刈谷病院 精神科）

- P-30 潜在化したトラウマを抱える患者を TIC の導入により地域社会資源につなげるシステムの構築に向けて
周藤由美子（ウィメンズカウンセリング京都）
- P-31 DV 被害者の経験する PTSD と PTG（心的外傷後成長）—被害者調査の結果から—
増井香名子（新見公立大学健康科学部、大阪府立大学客員研究員）
- P-32 子育て支援者に対するトラウマ理解のための研修会の実践報告
瀧井 美緒（岩手県立大学社会福祉学部）
- P-33 災害精神保健福祉活動の多職種連携の実践～ふくしま心のケアセンターの個別支援マニュアルの取り組みから～
山下 和彦（一般社団法人福島県精神保健福祉協会 ふくしま心のケアセンター）
- P-34 男性の性的被害と回復の諸相— Web 調査を中心に—
宮崎 浩一（立命館大学大学院人間科学研究科博士後期）
- P-35 演題取り下げ